

検討課題及び検討スケジュールについて（案）

1 検討課題

（1）建設技能労働者の人材確保の方向性

- 建設産業の技術、技能を継承し、持続的な発展を図っていく観点から必要な、建設技能労働の中核を担う人材の確保のあり方
 - ・ 入職率、離職率に変化がない場合、将来のミスマッチ発生の可能性
（中高年の熟練労働者の大量退職、若年入職者の減少傾向による建設技能労働者の質的・量的なミスマッチ）
 - ・ 将来の中核を担う若年者の確保の取組み
（若年層の入職率、離職率に対する取組みなど）
 - ・ 生産性の向上に係る取組み
（技能承継、工場製作の拡大、現場作業の効率化など）

（2）将来を担う中核的な建設技能労働者の確保方策

- 若年入職率の向上のための取組み
 - ・ 広報戦略の充実
（建設業全体、専門工事業、建設技能労働の理解増進など）
 - ・ 工業高校等教育機関との連携
 - ・ 夢と希望が描ける将来像の提示
（各専門工事業団体において、日建連 600 万円ビジョンと連続する、キャリアパスの作成検討など）

(3) 中核的な建設技能労働者の育成・評価・活用方策

- 生産性向上のための取組み
 - ・ 技能承継、職業訓練の実施
 - ・ 建設産業の構造変化に対応した建設技能労働者の育成
 - ・ キャリア形成のための育成カリキュラム、評価体系、処遇体系
 - ・ 職長等の建設技能労働者の工事実績評価、記録
 - ・ 基幹技能者の活用

(4) 労働環境の改善

- 中核的な建設技能労働者の処遇の改善
 - ・ 理想的な仕事（第一位：収入の安定性など）に向けた処遇の取組み（直接雇用、月給制、賃金、労働時間など）
 - ・ 労務費へのしわ寄せの抑止方策（ダンピング抑止、下請け保護施策、請負契約における労務費の流れの透明化など）
 - ・ 公共事業労務費調査の適正化等（調査標本の適正化、技能資格者調査の充実など）
 - ・ 雇用保険、健康保険、年金保険、建退共など、セーフティネットの加入促進

(5) 人材を大切にす下請企業の評価

- 建設技能労働者を雇用し、育成する下請企業を積極的に評価するための取組み
 - ・ 下請企業の選定基準の現状
 - ・ 技能面の評価（直接雇用の基幹技能者数、一級技能士数等）
 - ・ 労働環境面の評価（直用率、月給制率、セーフティネット加入率など）

2 検討スケジュール

検討会	開催時期	検討内容
第1回	9月	○建設技能労働者を取り巻く状況について ○検討課題及び検討スケジュールについて
第2回	11月	○専門工事業団体等のヒアリング結果報告 ○建設技能労働者の人材確保の方向性
第3回	1月	○将来を担う中核的な建設技能労働者の確保方策
第4回	3月	○中核的な建設技能労働者の育成・評価・活用方策
第5回	5月	○労働環境の改善 ○人材を大切にす下請企業の評価
第6回	7月目途	○取りまとめ